

北上市地域の教育力向上検討会

- 震災を超えて・新たな教育課題への取組
 組織の見直し・地域コミュニティ再生の取組
 □ PDCAサイクルによる推進の取組
 年間を通じた全県共通課題・モデルプログラムの取組
 □ 地域ぐるみによる「いわての復興教育」の取組
 防災教育・被災地支援交流・地域を担う人材育成の取組

活動の様子



『地域の教育力向上に向けたガイドラインの策定』

～市民運動として盛り上がり、地域づくり・まちづくりへとつながることを期待して～

1 地域の教育課題

- ・青少年健全育成、交流センターにおける生涯学習事業及び学校支援活動など、様々な分野において子どもに関わる取り組みが行われているところだが、活動に関わる大人が一部の人に限定されている。
- ・地縁的なつながりや人とのつながりの希薄化が進んでいる背景から、地域総ぐるみの活動には至っていない。
- ・市内各地区で特色を持った取り組みはされているものの、全体として系統だった整理や位置付けが明確になっていない。

2 ガイドライン策定までの計画

- 平成24年
 4～7月 課題の再確認、先進地事例の情報収集
 8月 社会教育委員有志による検討会立ち上げ
 8～2月 社会教育委員有志による検討会の開催
 8月 第1回社会教育委員会議定例会で意見交換
 9月 教育委員会定例会で意見交換
 11月 第2回社会教育委員会議定例会で意見交換
 12月 教育委員会定例会で意見交換
 12月 市P連、学校、地域、関係機関との意見交換
 平成25年
 2月 第3回社会教育委員会議定例会で原案作成
 3月 地域の教育力向上フォーラムの開催
 3月 ガイドラインの策定（教育委員会定例会）
 平成25年度 実施計画の見直し整理及び実践

3 検討会の様子（ワークショップでの意見）

- 育てたい心や力
 - ・他人を敬う心、尊重する心
 - ・思いやり、助け合いの心
 - ・感謝の心
 - ・故郷に誇りを持ち愛する心
 - ・生きる力
 - ・確かな学力
- 地域で心がけること
 - ・挨拶等のように、積極的に声をかける。場合によっては注意する。良いことはほめる。
 - ・地域づくり行事への子どもの積極的な参画。
 - ・子ども時代が楽しく、思い出を残せるような、自然、地域の行事、芸能、食文化等を存続させる。
- ガイドラインに盛り込むべき内容
 - ・地域の宝である子どもを育てるのに積極的にみんなが関われる具体的方策。
 - ・子ども、学校を支援するボランティア活動の推進。
 - ・地域の人々の意識啓発
 - ・ねらい、計画、内容、組織（全体、実践単位）。
 - ・家庭、地域、行政、学校等の役割を明確にあらわしたものを。
- 北上らしいガイドラインにするためのポイント
 - ・「北上っ子5つの約束」を基に、それらをより活性化できる内容であること。
 - ・「地域からの人づくり・まちづくり」を前面に出すこと。
 - ・それぞれの地域のもっている特色（自然、伝統芸能や文化、祭りなど、昔からの人々のつながり、地域性など）を大事にしなが、それらを生かす。

4 今後の取り組みについて

- ・各地区の実践例等とおして課題解決策を考えるフォーラムを開催し、市の目指す地域の教育力向上に向けての取り組みを市全体で共有できる場を設ける。
- ・各地区の取り組みを広報やホームページ等でこまめに情報提供することで、機運の醸成を図り全地区に取り組みを広めていく。